

学校と地域の書店との連携 「SDGs 絵本の読み聞かせ会」開催

1 活動の概要

今回の企画は、「本からよい環境へ」をテーマに、学校全体でSDGs活動に取り組んでいる川崎市立平間小学校と、地域貢献活動に積極的に取り組んでいる北野書店とが連携して実現したコラボ企画。

平間小学校の本を集めて寄付をする取組「ありがとうブック」に、北野書店が協力したことが縁となり、今回の取組につながっている。

司書の協力のもと、児童自らが選書したSDGsのテーマに合わせた内容の絵本を、地域の人たちの前で読み聞かせを行うことで、人権や環境などの問題に関心をもってもらうことを目的としている。



2 活動の状況、実際

イベント当日、北野書店の店内に設けた特設ブースで、平間小学校の児童が、来店した客や関係者に向けて、自分たちの活動の紹介や絵本の読み聞かせを行った。児童の熱心な説明や心のこもった読み聞かせを、多くの参加者が真剣に聞いていた。

北野書店の店内には、今回のSDGs活動の関連本の展示や読書感想文のコーナー、自分が読みたい本に出合える「押し本」のチャートコーナーなどをつくり、積極的に子どもの読書活動推進を図っている。



3 参加者、指導者等の声



【先生の声】

〇北野書店さんには、地域でこのような活動の場を提供していただき、たいへん感謝しています。地域の方に子どもたちの発表や読み聞かせを聞いてもらうことで、子どもたちの深い学びとなっています。

【児童の声】

〇地域でこのように発表する機会はあまり経験がないので、たいへん勉強になりました。
〇読み聞かせをすることで、地域の人にもSDGsやジェンダーについて考えてもらうきっかけになったうれしいです。

【書店の声】

〇今回で2回目のSDGs読み聞かせですが、「伝えよう」という子どもたちの思いがとても響きます。SDGsを考え、楽しんで活動している様子は学びの種だと感じます。これからもこの素晴らしい活動を応援していきたいです！